



松梅タイムズ

学校教育目標 ふるさと松梅を担う心身共に調和のとれた子どもの育成

令和5年6月9日（金）発行
第6号
文責 校長 蒔谷 健

令和5年度佐賀市コミュニティスクール認定

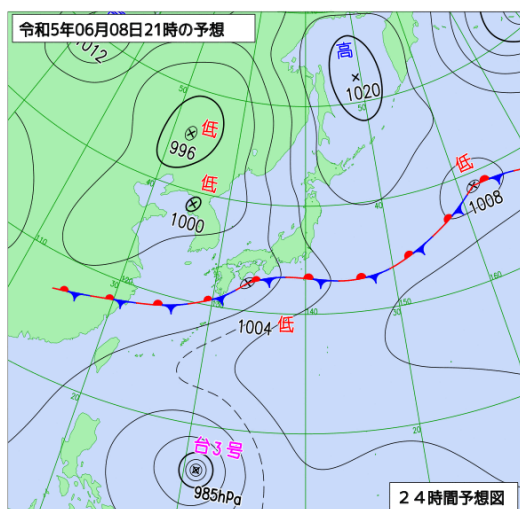
いじめアンケートご協力ありがとうございました。

先日、全校生徒、各ご家庭を対象にいじめアンケートを配布しました。本日9日（金）締め切りですが、保護者の皆様におかれましては、お忙しい中、ご回答いただきありがとうございました。いじめについては、令和4年11月に文部科学省が令和3年度全国調査の結果を公表していますが、認知件数が全国の小中高で61万件を超え、過去最多となりました。コロナ禍も多分に影響していると思いますが、スマホやPC等による誹謗中傷、いわゆるネットいじめも増加の一途で、はじめて2万件を超えたと報告されました。佐賀県は令和3年度は4,390件のいじめの認知件数となり、最も多かった大阪府は45,048件でした。全国のいじめの認知件数が、昨年、過去最多になったことは非常に残念ですが、それだけ職員・保護者が連携し、積極的に数として報告している結果でもあると言えるでしょう。どの学校でも「いじめはない」ではなく、「いじめは起こりえる」という認識で職員が指導に当たっています。成長途中の児童生徒ですので、友達と些細なことでトラブルになったり、ちょっかいをかけたりすることは実際に起こります。すぐさま職員が仲介に入ったり、仲直りをさせたり、反省すべき点は指導したりすることで、被害の生徒あるいはトラブルの双方が嫌な思いをすることがないように指導をしています。保護者様にトラブル等の事実と指導内容を職員が連絡することがあると思います。今後とも、校内でのいじめの発生を未然防止し、もし起こったとしても早期発見、解決をできるように取り組んでいきます。

- ・いじわるところが出てきたら 「ちょっとまてよ」を10回言うよ。
 - ・考えよう その言葉 一生残るデジタルタトゥー
- ※デジタルタトゥー：将来の自分に不利益なデジタル情報がインターネットで公開され、消せずに残り続けること

昨年度の小中学生による全国いじめ防止標語コンクールの文部科学大臣賞です。

雨が続きますが、めげずにがんばりましょう。



6月8日木曜日の21時の天気図です。ご存じの通り、台風3号が南方にあり、先週の東海地方での風水害、土砂災害がまた起こるのでは？と接近が不安視されています。また停滞前線が鹿児島県から四国、紀伊半島までかかっています。気象については中2で学習します。のこぎりの歯と半円のマークは停滞前線と言います。冷たく乾いた北からのオホーツク海気団（気団：空気の塊）と暖かく湿った空気の塊、南からの小笠原気団が互いにぶつかり合って勢力争いをしている状態です。暖かく湿った空気が冷たい空気とぶつかり、暖かい空気が冷やされて上昇気流となり、雲ができて、空気中の水蒸気が雨になります。このギザギザマークの付近は雨が降ります。天気予報を一緒に見る機会があれば、お子様にも教えてあげてください。約1か月半、この2つの空気の塊が勢力争いをするので、前線が上がったり、下がったりします。いずれ小笠原気団が強まり、梅雨前線は北上し、沖縄から梅雨明けします。この前線は北海道まで北上することはあまりなく、北海道には正確な梅雨という時期はありません。（蝦夷梅雨と呼ばれる雨季が短期間あるそうです。）じめじめした時期が続きますが、高い湿度に負けず、児童生徒とともに頑張ります。

学校でのようす



プール掃除
もうすぐ暑い夏がやってくる！



梅ちぎり
梅干し、紅梅漬け、ジャム、ふりかけ等に加工作ります。



児童生徒総会
中学部の先輩たちの答弁、格好よかったです。



小学部読み語り
物語の世界に引き込まれました。
地域の方々に「感謝」です。



5年生国語の授業
「環境問題について報告しよう」
資料を集めて報告文を書き、発表します。



保育園児さんとの1，2年生の
サツマイモの合同苗植え
大きくておいしいサツマイモができるといいね！

進路選択、ご家庭でも話をしてみてください。

写真は先日行われた中2，3年の生徒を対象に行われた県立高校説明会の写真です。本校中3生徒が希望している県立高校の先生をお招きして、各高校の特徴・アピールポイントを説明してもらいました。6月に入り、中学部3年生のもとには、各県立高校・私立高校から、夏を中心に行われる体験入学（オープンスクール）の案内が届けられています。また各高校の広報担当の先生方があいさつを兼ねて、パンフレットや体験入学の案内を持って校長室にいられています。これからは中学部3年生は自分の進みたい高校の選定に入っていくと思います。

本来、進路指導とは高校入試への指導（中学校の出口指導）がすべてではありません。資格取得や勤労体験、職能開発といったキャリア教育も進路指導としては重要です。しかし、実際は高校進学率が99%を超えている状況では、高校進学に向けての指導が進路指導の大きなウエイトを占めていることは否めません。将来、社会の形成者として、どんな仕事に就き社会に貢献したいのか、どんな学問を深めたいのかをできるだけ具現化することが大切です。「中学3年生では、まだ将来のことなど決められない、わからない」と感じられる保護者の方（生徒も）おられると思いますが、夢や目標として自分が何をしたいのか、どのように社会とかわかり、よりよく生きていくかその、思いを一度まとめておくことは重要です。また意欲が強ければその後の目的意識も、学習に向かう姿勢もしっかりとしてくるのではないかと思います。ご家庭で一度、お子さまの進路について話し合いをしてみてください。その際、お子さまが現実とはかけ離れた夢や希望を語っても、頭から否定することなく、話を最後まで聞いてあげてください。

